



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月2日

上場会社名 株式会社ストリームメディアコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 4772 URL http://www.streammedia.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金 東佑
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部門長 (氏名) 山田 政彦 TEL 03-6809-6118
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	2,180	△28.7	42	△81.7	47	△79.9	41	△79.4
2024年12月期第1四半期	3,056	11.2	232	23.6	236	25.5	201	17.1

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 72百万円 (△54.9%) 2024年12月期第1四半期 160百万円 (△80.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	0.36	—
2024年12月期第1四半期	1.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	14,640	7,760	46.8
2024年12月期	14,405	7,783	48.0

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 6,854百万円 2024年12月期 6,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,866	1.5	405	11.5	409	9.2	405	△48.5	3.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年12月期 1 Q	115,904,831株	2024年12月期	115,904,831株
2025年12月期 1 Q	9,930株	2024年12月期	9,930株
2025年12月期 1 Q	115,894,901株	2024年12月期 1 Q	115,894,985株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループに関連する市場環境につきましては、エンターテインメント業界では、製作費の高止まりや円安の影響が継続しているものの、コロナ禍からの経済環境の正常化に伴い音楽イベントの開催数は増加傾向にあり、2025年の音楽ライブ市場は安定的に成長をしています。映像コンテンツ業界では、大手OTTサービス事業者の参入によるコンテンツ権利獲得の競争激化に加え、OTTサービス利用の増加による視聴者層の分散や若年層のテレビ離れが相次いでおり、多チャンネルサービスの加入世帯減少や広告収入の減少など市場環境は厳しい状況が続いています。

このような経営環境の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間におきまして、エンターテインメント事業では計25公演のコンサートを行い、約30万人を動員しました。また、コンサート以外の事業では、ファンミーティングやPOPUPの開催、広告出演等の事業が好調に推移しました。

ライツ&メディア事業では、ライツ事業で新作コンテンツの獲得営業を積極的に行うとともに、継続しアーカイブ作品の販売を強化しました。メディア事業ではプレミアムコンテンツを計5作品放映し、視聴者の新規獲得および解約防止に努めるとともに、事業収益の効率化を図っています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,180百万円（前年同期比28.7%減）、営業利益は42百万円（前年同期比81.7%減）、経常利益は47百万円（前年同期比79.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は41百万円（前年同期比79.4%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(エンターテインメント事業)

コンサート事業では、東方神起が2024年11月より「東方神起 20th Anniversary LIVE TOUR ～ZONE～」をスタートさせ、累計19公演、約20万人を動員しました。また、NCT 127は3月の京セラドーム2公演を含む「NCT 127 4TH TOUR 'NEO CITY : JAPAN - THE MOMENTUM」を開催し、計4公演、約9万人を動員しました。

コンサート以外の事業では、MD事業においては、NCT DREAMとRIIZEのランダムフォトカードやランダムトイ等の販売戦略が奏功したことに加え、東方神起とaespaのPOPUPも開催しました。

その他の事業においては、広告出演の担当部署を設置したことにより、アーティストの広告起用も増加し、売上のみならずアーティストの認知度向上にも寄与しました。aespaのGISELLEがファイントゥデイ社「SENKA」のグローバルアンバサダーに就任、NCT 127のYUTAと「ルイ・ヴィトン×村上隆」コレクションのコラボレーションも実現しました。

この結果、売上高は1,623百万円（前年同期比32.9%減）、セグメント利益は130百万円（前年同期比57.2%減）となりました。

(ライツ&メディア事業)

ライツ事業においては、ファン層の厚い時代劇ドラマの獲得に力を入れており、話題の時代劇ドラマ「元敬（ウォンギョン）～王妃の欲望～」等、計6作品を獲得しました。その他、日本初放送となる「親切なソングジュさん（原題）」やRed Velvetのイェリが出演する「清潭国際高校2」も獲得しました。アーカイブ作品の販売にも引き続き注力し、「太宗イ・バンウォン～龍の国～」 「哲仁王后～俺がクイーン！？～」等、各種地上波、BS・CS放送にて当社が保有するアーカイブ作品が多数放送されました。

メディア事業においては、グループシナジーを活かした、NCT 127や、aespaなどのプレミアムコンテンツ計5作品を放映しました。多チャンネル市場縮小の影響を受け厳しい状況が続いていますが、視聴者の新規獲得および解約防止を図ることに加え、オフィス移転による固定費の削減等を図り、事業の効率化を推進しています。

この結果、売上高は556百万円（前年同期比12.7%減）、セグメント利益は59百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

(その他事業)

その他事業はカラオケアプリの事業を行っておりましたが、前連結会計年度において事業を終了しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は14,640百万円となり、前連結会計年度末に比べ235百万円増加いたしました。流動資産は12,887百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円増加いたしました。その主な要因は、売掛金が1,057百万円減少したものの、現金及び預金が1,411百万円増加したことによるものであります。また、固定資産は1,753百万円となり、前連結会計年度末に比べ126百万円増加いたしました。その主な要因は、投資有価証券が58百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は6,880百万円となり、前連結会計年度末に比べ258百万円増加いたしました。流動負債は6,417百万円となり、前連結会計年度末に比べ227百万円増加いたしました。その主な要因は、買掛金が462百万円増加したことによるものであります。また、固定負債は463百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円増加いたしました。その主な要因は、繰延税金負債が31百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は7,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益41百万円計上したものの、配当金の支払115百万円により利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年2月5日の「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,452,621	3,863,867
売掛金	6,118,211	5,060,383
商品	11,535	38,300
番組勘定	321,562	304,528
コンテンツ事業権	2,267,798	2,357,933
前渡金	305,251	306,079
立替金	896,243	545,024
その他	405,305	411,486
流動資産合計	12,778,529	12,887,605
固定資産		
有形固定資産	20,070	19,068
無形固定資産	7,647	7,178
投資その他の資産		
投資有価証券	1,385,827	1,444,752
長期貸付金	93,577	90,577
繰延税金資産	156,244	156,244
その他	66,696	154,569
貸倒引当金	△102,851	△119,033
投資その他の資産合計	1,599,495	1,727,110
固定資産合計	1,627,213	1,753,356
資産合計	14,405,742	14,640,962
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,106,702	5,569,440
契約負債	293,305	415,610
賞与引当金	55,436	-
その他	734,332	432,420
流動負債合計	6,189,777	6,417,471
固定負債		
繰延税金負債	417,158	448,165
その他	15,348	15,029
固定負債合計	432,506	463,194
負債合計	6,622,284	6,880,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	5,988,803	5,988,803
利益剰余金	330,170	255,781
自己株式	△33,136	△33,136
株主資本合計	6,335,837	6,261,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576,643	593,262
その他の包括利益累計額合計	576,643	593,262
新株予約権	466,104	486,378
非支配株主持分	404,872	419,206
純資産合計	7,783,457	7,760,296
負債純資産合計	14,405,742	14,640,962

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,056,701	2,180,266
売上原価	2,395,656	1,669,017
売上総利益	661,045	511,249
販売費及び一般管理費	428,496	468,598
営業利益	232,548	42,650
営業外収益		
受取利息	463	1,611
受取配当金	—	7,883
為替差益	3,442	—
業務受託料	378	259
その他	8	—
営業外収益合計	4,292	9,754
営業外費用		
支払利息	17	13
為替差損	—	4,691
営業外費用合計	17	4,704
経常利益	236,823	47,700
税金等調整前四半期純利益	236,823	47,700
法人税、住民税及び事業税	37,004	3,157
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	37,004	3,157
四半期純利益	199,819	44,542
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,670	3,036
親会社株主に帰属する四半期純利益	201,489	41,506

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	199,819	44,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,035	27,917
その他の包括利益合計	△39,035	27,917
四半期包括利益	160,783	72,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,251	58,125
非支配株主に係る四半期包括利益	△17,468	14,334

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	3,012千円	2,548千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	エンターテインメント 事業	ライツ&メディア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,419,007	637,694	3,056,701	0	3,056,701
外部顧客に対する売上高	2,419,007	637,694	3,056,701	0	3,056,701
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	2,419,007	637,694	3,056,701	0	3,056,701
セグメント利益又は損失(△)	305,721	90,255	395,976	△2,918	393,057

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カラオケのアプリ事業を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間において事業を終了しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	395,976
「その他」の区分の利益	△2,918
全社費用(注)	△160,508
四半期連結損益計算書の営業利益	232,548

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	エンターテインメント 事業	ライツ&メディア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,623,506	556,760	2,180,266	-	2,180,266
外部顧客に対する売上高	1,623,506	556,760	2,180,266	-	2,180,266
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	1,623,506	556,760	2,180,266	-	2,180,266
セグメント利益	130,732	59,323	190,055	-	190,055

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントでありましたが、事業を終了したため記載しておりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	190,055
「その他」の区分の利益	-
全社費用(注)	△147,405
四半期連結損益計算書の営業利益	42,650

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。